

新たな英語学習法

New Ways to Learn English

畠 山 義 啓

Yoshihiro Hatakeyama

(要 約)

英語学習法には従来から様々なものがある。映画による学習法は古典的なものであるが、デジタルツールの発達で、従来にはない斬新な学習法が生み出されてきた。また、iPad が提供するいくつかのアプリケーションも大いに英語学習に使っていくことができる。ここでは、新たな英語学習法として、映画を素材としたもの、iPad によるものを紹介していく。

(キーワード)

英語学習、映画教材、iPad

はじめに

英語が世界共通言語であることは誰もが認識しているところである。ヨーロッパが EU となり EU 圏での人間の移動に国境というバリアが取り払われてから、さらにそれが加速されているといえよう。ただ、日本の若年者の興味が海外ではなく、非常に狭い世界に向かっていることは我が国の今後を考えた場合、憂えるべきことである。英語教育に携わる者として、英語学習のための様々な機会を提供していくことが大きな使命と考え、英語学習法のいくつかを紹介していくことにする。英語学習法というと、学生から英語をどのように勉強したらよいのでしょうかという質問をよく受けることがある。なかなかひとりで答えることは難しいのが実際である。なぜならば、その人のその時点での英語能力がどれほどのものなのか、また、英語といっても読解力を高めたいのか、時事英語に強くなりたいのか、英語でのコミュニケーション力を向上させたいのか、海外旅行で使える英語を学びたいのかその目的もよく聞いてみないとわからない。また、学習にはモチベーションが大切であるが、それと同時に学習教材を選ぶときに、その人の興味と結びつけたほうが効率がよい。それゆえ、その人のその時に興味を持っていることに合わせて学習していくことも有効なことである。

一方、学習教材は、紙ベースの資料だけでなく、ウェブによる学習教材、地上波放送・BS デジタル放送での学習番組がより豊富に提供されるようになってきている。むしろ氾濫していると言ったほうが当てはまるのかもしれない。しかし、どのような時代、どのような状況においても自分自身で様々な学習方法にチャレンジしてその時のその人に最適なものを自らで見出していくことが、その人にとっての最良の学習方法と言える。

そこで、ここでは英語学習者に対して、学習者の取り組み方が広がり、能力がより向上することを目的として、様々な学習教材を提示していくことにする。提示していくうえで、ウェブ活用、ソフトウェア、ハードウェア+ソフトウェアの順序で行っていく。

(1) 映画を題材として

1. スクリプト

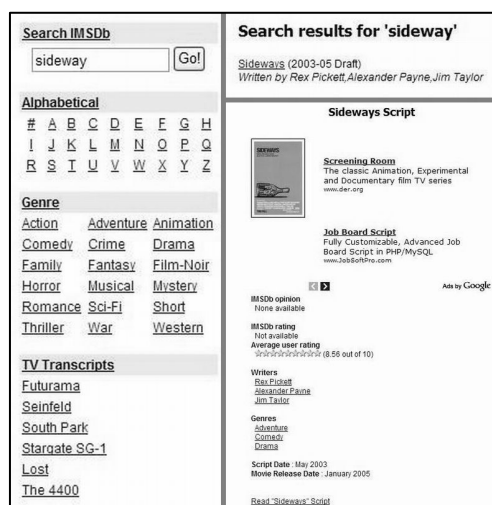


図 1

映画のスクリプトの入手方法について解説する。その方法はいくつかあるが、ここでは The Internet Movie Script Database (<http://www.imsdb.com/>) の使い方を紹介することにする。Search IMsDb の検索窓に探したい映画タイトルを英文で入力する。たとえば、図 1 に示すように Side Way と入力する。そうすると Search results が表示される。そこで、Sideways(2003-05 Draft)をクリックすると図 1 右下のような画面が現れる。一番下にある Read “Sideways” Script をクリックするとスクリプトが表示される。なお、映画のスクリプトを入手するには、次のサイトも利用可能である。特に、Awesome Film.Com は PDF ファイルでの提供をしている作品もあるので、後述する iPad での活用に最適である。

The Daily Script (<http://www.dailyscript.com/>)

Awesome Film.Com (<http://www.awesomefilm.com/>)

Movie-Page (http://www.movie-page.com/movie_scripts.htm)

2. Google ツールバーによるマウスオーバー辞書

Internet Explorer に Google ツールバー (<http://www.google.com/intl/ja/toolbar/ie/index.html>) がイン

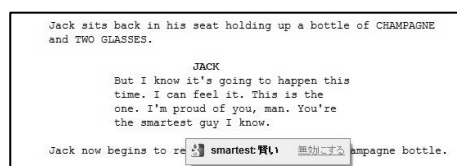


図 2

ストールされていれば、マウスオーバー辞書機能を使用して、スクリプト上の単語をマウスでなぞればその意味がポップアップするので、瞬時に意味をチェックすることが可能である。図 2 は、ウェブで表示されたスクリプト上で “smartest” にマウスを持って行ったときに表示されるポップアップ辞書である。

3. テキストリーダーの活用

スクリプトを英文テキストリーダーを使って読みあげさせることも可能である。フリーソフトとして Natural Reader(<http://www.naturalreaders.com/index.htm>) あるいは Speech Player (<http://www.portalgroove.com/speechplayerfree/>) であるが、どちらも Microsoft Text to Speech 技術を利用しているために音声は同一である。また、両ソフトともに無料版と有料版があるが、無料版でも音声を聞くことは可能である。Natural Reader はサイトより Free Natural Reader をダウンロード、インストールする。最初にソフトを

起動したとき起動画面右下の Floating bar ボタンをクリックすることで利用できるようになる。英文の聞きたい部分をドラッグして Floating bar 再生ボタンをクリックすることで音声を聞くことができる。Speech Player もサイトよりダウンロード、インストールまでの手順は同様である。音声を聞くには英文をドラッグしたのち右クリック、コピーを選択し Clipboard ボタンをクリックする設定となっている。以下の図は左より Natural Reader 初期画面右下の Floating bar 起動ボタン、Natural Reader の Floating bar、Speech Player の操作ボタンを示している。



図 3

4. スクリプトの保存

ウェブ上で前述のスクリプトを閲覧しているだけでなく、ファイルとして保存するには「ツールバー」 「ファイル」 「Microsoft Office Word で編集」 をクリックすることでワードファイルとして保存することができる。さらに、ワード 2007 では、「名前を付けて保存」 「PDF または XFP」 を選択することで、PDF ファイルとして保存することができる。この場合、ワードのファイルにウェブからの広告が挿入されているときには、広告を削除してから保存するとよりクリーンなファイルを作成することができる。

5. ソフトウェアの活用

映画を題材に英語を学習しようとする場合、「超字幕」¹ というソフトが便利である。映画を単に DVD で閲覧するのでは、チェックしたい箇所を何度も再生するには大変な労力を伴う。このソフトは、映画の英文スクリプト、日本語字幕の表示・非表示、再生速度の変更、選択したフレーズのリピート再生が可能となっている。また、選択したフレーズ中の単語を調べるための英和辞典（リーダーズ英和辞典）が収録されている。単語帳は、無償の iPhone アプリケーション「超字幕どこでも単語」を使用することで iPod/iPad で単語学習ができるようになっている。これは、コンピュータ側で単語帳を作成し、アプリケーション側と同期する仕組みとなっている。以下の図 4 は、左側から「超字幕の映画再生画面」「英和辞典の起動」「iPod/iPad との連携」を示したものである。

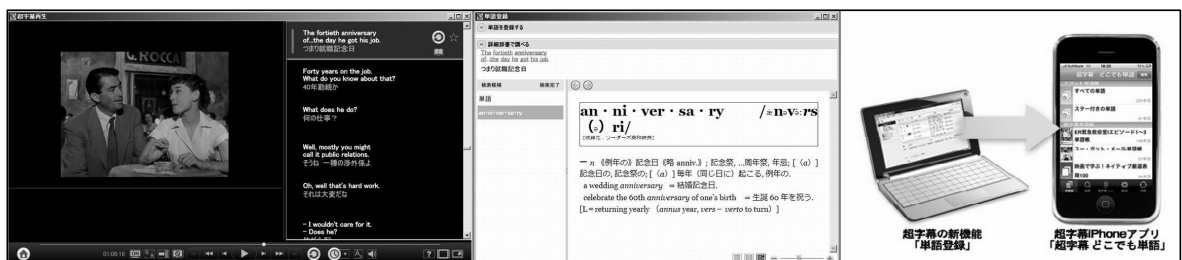


図 4

なお、コンピュータへのインストール方法には 2 種類あり、映画のコンテンツを全てインストールす

る方法と、超字幕起動時のライブラリー画面にのみその映画のタイトルをインストールする方法がある。これは、コンピュータのハードディスク空き容量で判断して選択することになる。映画1タイトルで1ギガバイトの容量を目安としておく。

(2) 電子書籍を学習材料として

1. ウェブでの電子書籍

日本では青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) が電子書籍の無料配布元として一般的であるが、英語学習の教材として電子書籍を入手するには、Free eBooks by Project Gutenberg が挙げられる。1971年に始まったプロジェクトであり電子図書館として大変歴史のある存在である。インターネットに接続されているコンピュータであれば、以下の手順で書籍を検索し、ダウンロードすることができる。

Project Gutenberg のサイトにアクセスする (http://www.gutenberg.org/wiki/Main_Page)。特定の書籍を検索するのであれば、ウェブページ左上にある search book catalog の検索窓に、Author (著者名)、Title Word(s) (書籍タイトル) を入力する (図5参照)。どのような書籍があるのか検索する場合は、ウェブページ上段にある Bookshelves by topic をクリックすると分野別の検索ができるようになっている。A から W までのカテゴリが表示されるが、たとえば C のところには、以下のカテゴリがある。Children's Book Series, Children's Fiction, Children's History, Children's Literature, Children's Periodicals, Children's Picture Books, Christmas, Classical Antiquity, Contemporary Reviews, Cookery, Crafts, Crime Fiction のようになっている。ここで、Children's Picture Books をクリックし、表示された Contents の中から Kate Greenaway を選ぶと、Wikipedia: Kate Greenaway, A Apple Pie, Marigold Garden, Mother Goose or the Old Nursery Rhymes が提供されていることがわかる (図6参照)。実際に、Marigold Garden をクリックすると、Marigold Garden by Kate Greenaway のページが表示される。ここで、Download タグをクリックし、ファイル形式を選択してダウンロードする。コンピュータのスクリーン上で閲覧する場合はHTML ファイル形式を選ぶことになる。

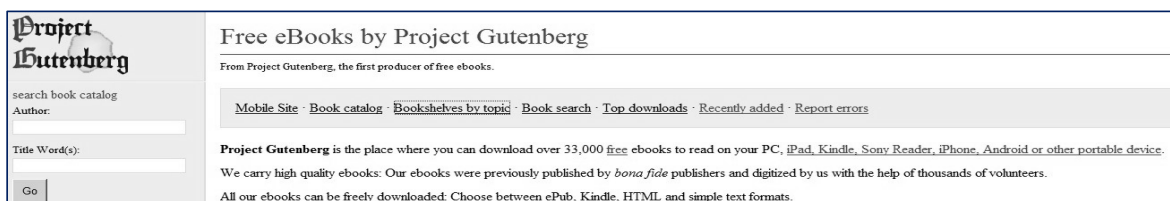


図 5

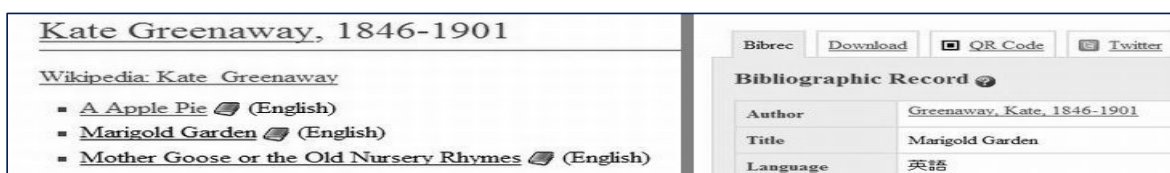


図 6

以上がコンピュータで電子書籍を英語学習教材として取り込む方法であるが、この Gutenberg による電子書籍は、ダウンロードするファイル形式で EPUB(Electronic Publication)を選択すれば、iTunes に取り込み iPad で閲覧することができる。また、後述する iPad で特定のアプリケーションを用いても利用することができる。

2. 電子書籍リーダーとしての iPad の活用

ここでは、電子書籍リーダーとしての iPad および英語学習に有効なアプリケーションについて紹介していくこととする。ただし、iPad には無線 LAN(Wi-Fi) モデルと携帯電話通信を併用するモデルがあること、また iPad へのデータの取り込みにはファイル容量が大きなものはコンピュータ側の iTunes に取り込んでから同期させるといった基本的な使い方を理解しておく必要がある。

iPad を電子書籍として利用していくには大きく分けて 2 通りあるといえる。1 つ目は PDF あるいは EPUB ファイルを iTunes に取り込み同期させる方法である。画像ファイル、文書ファイルであれば PDF ファイルに変換する必要がある。iPad で PDF ファイルを電子書籍として活用するための代表的なアプリケーションは iBooks² である。コンピュータに PDF ファイルを保存し、iTunes に取り込み、iPad と同期させれば iBooks で閲覧することができる。ここで、ウェブページ、文書ファイル、画像ファイルを PDF ファイルに変換する方法の一つを紹介しておく。無料 PDF 作成ソフト CubePDF(<http://www.cube-soft.jp/cubepdf/>)をコンピュータにダウンロードしインストールする。PDF ファイル変換ソフトの多くは、「印刷」するのと同じ手続きを行い、「プリンタの選択」で PDF ファイル作成ソフトを指定し、印刷ボタンをクリックすることで PDF ファイルが生成される。図 7 は、左から「プリンタの選択」「印刷ボタンをクリックした後に表示される CubePDF の設定画面」「画像ファイルを PDF に変換する際のプリンタ選択画面」を示している。

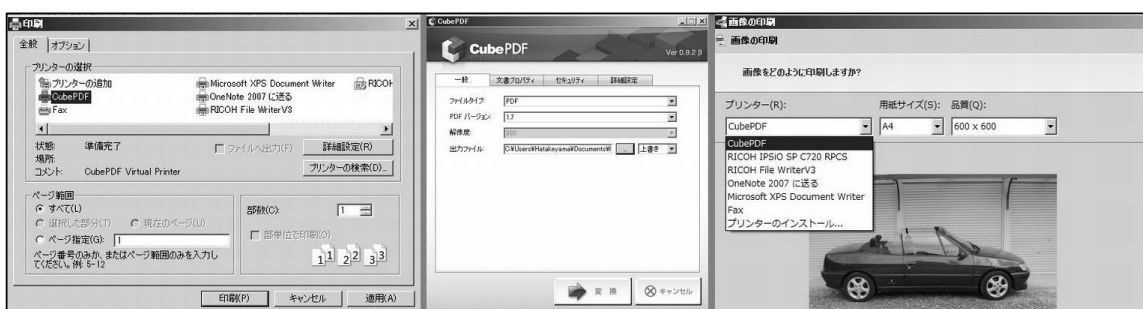


図 7

もう 1 つの方法は、電子書籍を iPad に取り込むことができるアプリケーションを iTunes もしくは iPad にインストールすることである。英語学習を前提とした代表的なアプリケーションは iBooks、Stanza、Freebooks、Kindle などである。これらのアプリケーションを使用すれば有料、無料の書籍をダウンロードできる。それぞれのアプリケーションについて詳しくみていくことにする。

iBooks

iBooks は、App Store からダウンロードできる無料のアプリケーションである。閲覧できる書籍（ド

キュメントも含む) は、2種類存在する。ひとつは、App Store が提供している書籍をダウンロードしたもの、もうひとつは、PDF ファイルあるいは電子書籍形式 EPUB ファイルを iTunes に取り込んだものということになる。App Store での書籍の検索は、カテゴリ (伝記&自叙伝、フィクション&文学、歴史、宗教&スピリチュアル、旅行、William Shakespeare、History、Great Russian Writers、Jules Verne、Travel & Adventure、Fiction & Literature) を指定して選ぶ方法と検索窓に作家名、作品名を入力して選ぶ方法がある。ここでは、その一例を示しておくことにする。検索窓に Beatrix Potter と入力すると “The Tale of Peter Rabbit” をはじめとする 16 作品が無料でダウンロードできる。実は、App Store にある無料の電子書籍のほとんどは前述の Project Gutenberg から提供されたものである。ただし、Gutenberg から提供されている同一の作品であっても、App Store に置かれているファイルと Gutenberg にある EPUB ファイルとでは image (挿絵) がある、ないなど異なる場合があるので、自分に都合のよい方を選ぶこともできる。ダウンロードの容易さは App Store からの方が簡単でわかりやすいという状況はある。なお、電子書閲覧中に英単語の定義を調べるには、単語の上でタップし、「辞書」の項目をタップすると英英辞書による定義を見ることができる。図 8 は、左から、Store にアクセスしたところ、Beatrix Potter の作品を検索したところ、英単語定義を表示させたところを示している。

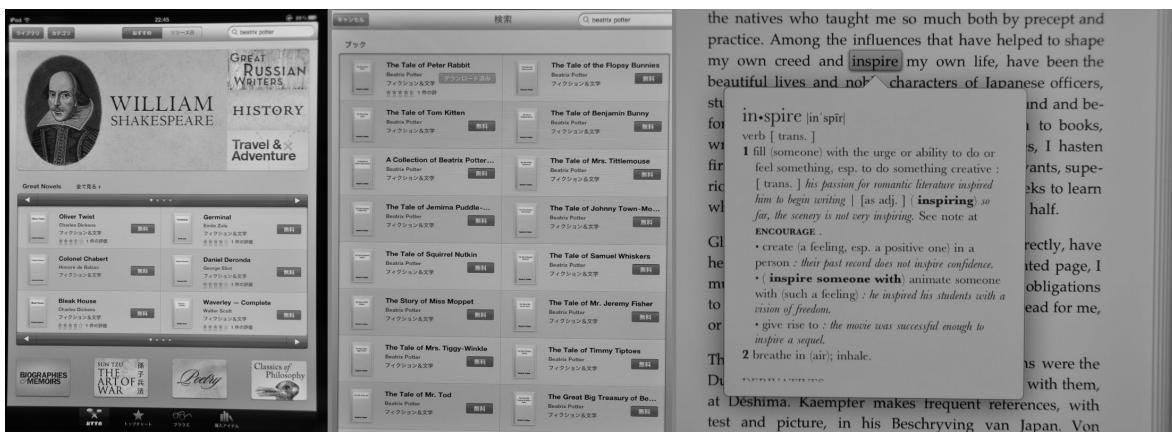


図 8

Stanza

Stanza は、Lexcycle³が App Store で提供する無料の電子書籍リーダアプリケーションである。10 万冊

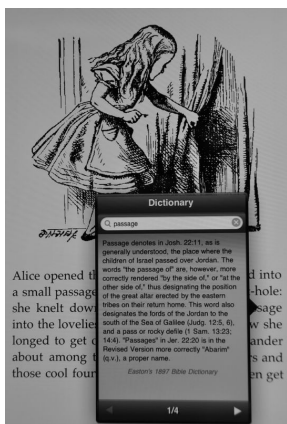


図 9

の書籍、定期刊行物を提供していると説明されている。Free Books のカテゴリには、Feedbooks-Free Content、プロジェクト・グータンベルク、Random House Free Library、Try Harlequin、Books from Munseys、Books from BookGlutton、Sheet Music from Mutoopia、Pan Macmillan Tasters とあるが、まずはプロジェクト・グータンベルクから試みて使い方を理解してから様々なカテゴリを検索するとよい。Books from Munseys に Japanese Fairy Tales by Yei Theodora Ozaki があり日本の英語学習者にとって日本昔話を英語で読むことも親近感があり興味を持って読むことができるであろう。書籍閲覧中に英単語の意味を調べるには、iBooks 同

様に単語の上でタップし、さらに「定義」という項目をタップすると図9に示すように英英辞書がスクリーン上に現れる。

Free Books

Free Books は、Spreadsong が App Store で提供している電子書籍リーダーである。図10は、iPadでFree Booksを起動したスクリーンである。iPad向けのアプリケーションは無料であるが、iPhone向けのアプリケーションは230円となっている。また、同社が提供するFree Audiobooksは、iPad向けが350円、iPhone向けが230円である。23,469冊の古典を用意していると解説されている。カテゴリは、Abraham

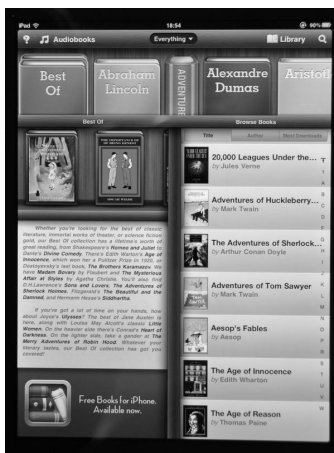


図10

Lincoln、Adventure、Alexandre Dumas、Aristotle、Arthur Conan Doyle、Autos & Bios、Banned Books、Bram Stoker、Charles Dickens、Cicero、Classics など50ほどあるが、英語学習者には基本的な英語で書かれているということ、慣れ親しんだストーリーが数多く存在していることといった点から English 101、Young Readers といったカテゴリから検索していくことが好ましいと考えられる。101の意味することは基本ということである。たとえば English 101 には、Adventures of Huckleberry Finn、Adventures of Sherlock Holmes、Adventures of Tom Sawyer、Alice's Adventures in Wonderland、Gulliver's Travel、Heidi、Robinson Crusoe、Treasure Island などがある。なお、Free Books には辞書機能はない。

Kindle

Kindle は、米アマゾン社が販売する電子書籍リーダーのことであるが、同社は App Store に同名の Kindle というアプリケーションを提供している。ここでは、後者の Kindle について解説する。このアプリケーションは、iPad、iPhone、iPod touch 向けのものであり、アマゾン社が運営する Kindle Store にある Kindle books を購読できるようになっている。また、Kindle books は、Kindle、iPad/iPhone/iPod touch、Windows コンピュータ、Mac コンピュータ、アンドロイド携帯電話、ブラックベリーでも購読できるようになっており、Amazon Whispersync の機能を使えば、どの端末で購読していても、同一書籍であれば別の端末でその続きを購読できることになる。書籍閲覧中の辞書機能をもっており、単語の上でタップすれば、英語による定義が示される。その定義の中の Full Definition をタップするとさらに詳しい定義を見ることができる。Kindle books の購入は、Amazon.com の Kindle eBooks へアクセスする。無料の書籍を検索する場合は、図11に示すように Sort by のプルダウンメニューで Price: Low to High を選ぶことで見つけることができる。この図では、William Shakespeare の著作を Low to High で検索しているところである。

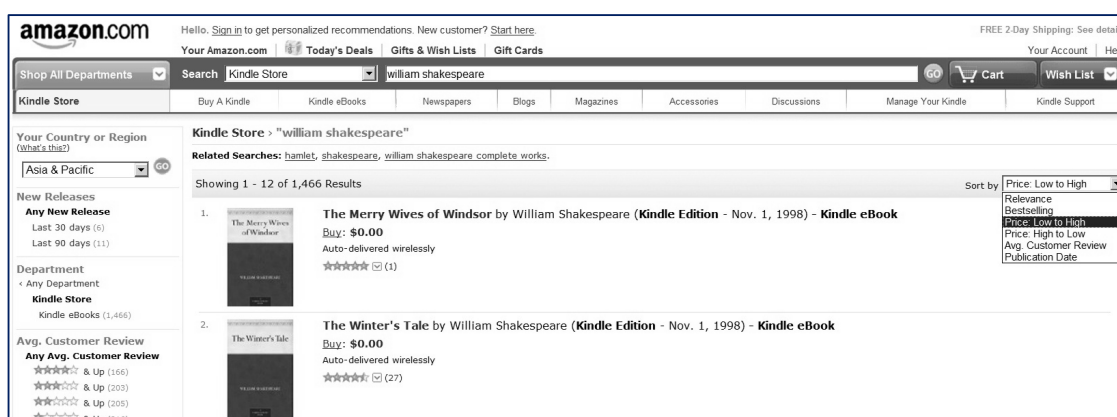


図11

(3) iPad を英語学習マルチメディア教材として

iPad が発売された時には、Kindle と並ぶ電子書籍リーダとして話題になったが、英語学習という見地から考えると、マルチメディアを活用した道具としてとらえることができるといえよう。ここでは、主にリスニングを強化しながら英語力を養成していくことを目的としたアプリケーションを紹介していく。

1. VOA を教材として

Voice of America は、アメリカ合衆国国営放送である。インターネットが普及するまでは、ずいぶん多くの人が、ラジオの短波放送で受信して英語学習に利用してきたものである。現在でもラジオでの受信は可能であるが、iTunes のポッドキャストで聴くことができる。さらに、ここで紹介するアプリケーションは、VOA を聴くだけでなく、スクリプト付きで英語学習に活用できるものである。この機能を持ったアプリケーションにはヒアリング能力に応じて2種類ある。初中級者用として、初級リスニング NEWS-Standard VOA daily、上級者用として実践リスニング NEWS-Special VOA daily である。これらのアプリケーションには、以下の機能がある。

- a. インストールされている特定の英和、英英辞書との連携：スクリプトにある英単語上でタップすることでその単語の定義を辞書で確認することができる（図12参照）
- b. 音声のスピード調整：0.6倍～2倍の範囲で調整することができる
- c. スクリプト自動スクロール：英語の音声スピードに応じてスクリプトが自動的にスクロールする
- d. オフライン機能：ダウンロードしたファイルは電波の届かないオフライン状態でも再生できる
- e. Google 翻訳との連携：スクリーン右上にある g のマークをタップすることで、Google による英文スクリプトの日本語訳を見ることができる。ただし、これはあくまでも機械翻訳であるので正確でない

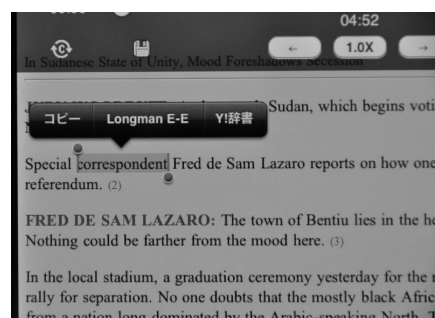


図12

場合もある

さらに、この機能を持った最上級者用として、PBS HD というアプリケーションがある。これは、アメリカ合衆国公共ネットワークである PBS ニュースアワー(PBS News Hour)を扱ったものであるが、1-2人以上の対談を主にした論評形式である点から高度なリスニング力養成の教材といえる。

2. TED + SUBTITLE

TED (Technology, Entertainment, Design) は、Ideas Worth Spreading を標語としており、素晴らしい考えを世界に広げることを使命としている組織である。科学技術、演芸、デザインの3分野から優れた人々に講演の機会を提供し、多くの人にその素晴らしい考え方を伝えることを目的に1984年に創設された非営利団体である。講演の内容は、TEDのウェブページ (<http://www.ted.com/>) から聴講することができるが、2009年5月より The TED Open Translation Project が開始され、翻訳ボランティアによって40カ国以上の言語に翻訳されスクリーン上にサブタイトル(字幕)として表示されるようになった。この機能の使い方は、ウェブページ上の「Translations」をクリックし、「Find talks in your language」のプルダウンメニューで「Japanese」を選択すると、ウェブページが日本語で表示されるとともに、講演ビデオに日本語のサブタイトルが表示される。(図13参照)

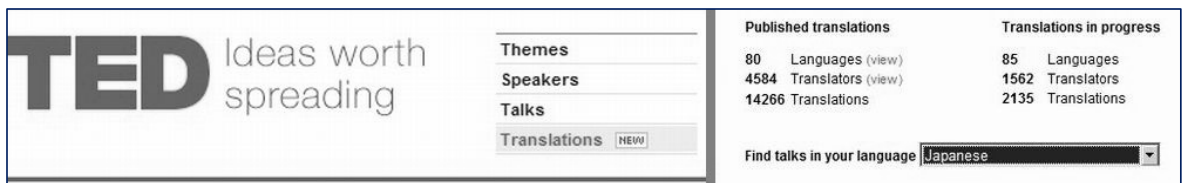


図13

以上の機能を持った iPad 向けのアプリケーションが TED + SUBTITLE である。図14左側に示すように、Settingで「Show talks subtitled in」を「Japanese」

を選択すると、右の画像のように、日本語のサブタイトルが挿入され、さらに About this talk には、講演内容の概要が日本語で示されることになる。この機能によって、さらに TED の内容を詳しく把握できるようになった。

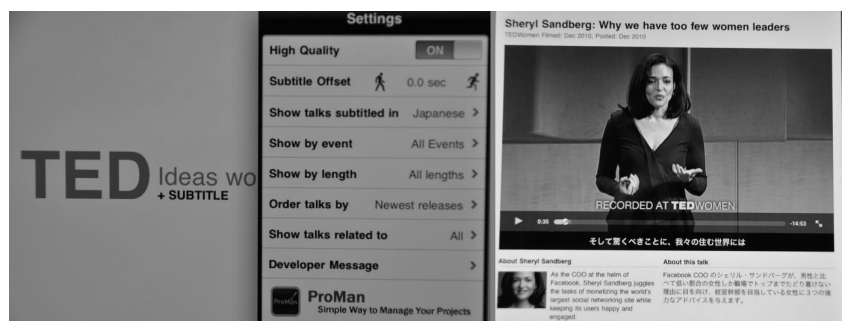


図14

おわりに

英語学習のデジタル教材を紹介してきたが、皮肉なことにデジタルツールを使っていく際に一番役に立つのは、よく理解している人に尋ねることである。つまり、英語を学習することも、デジタルツールを使いこなしていくこともアナログ的な要素が不可欠だということである。そういった意味では、わからないこと、知りたいことがあれば積極的に質問する姿勢は大切である。そして、語学は継続することが最大の力となる。明確な目標を設定すること、自分に合った教材を検討すること、1年、6か月、3か月、1か月、1週間、1日の学習計画を立て実行できたかどうか常にチェックすることによってよい結果を得ることができるのである。

註

- 1 超字幕は、ソースネクストの製品であり、詳細は <http://www.chou-jimaku.com/>より確認可能
- 2 App Store から無料でダウンロードできる電子書籍閲覧アプリケーション
- 3 2009年4月に米 Amazon に買収された企業である